

作者の横顔

子育てに真剣に悩む

同士へのエール



▲このページの作者である田中博子さん。現在、中央公民館で乳幼児学級などを担当しています。

自分は『楽しく子育て!』に、反発を感じながらの子育てでした。

幸いなことに、乳幼児時期家庭教育学級、母子手帳交付などの仕事させてをいただいています。

多くの子どもたちに出会い、ひたむきな心を知ったとき、子どもがいとおしくなり、子育てもいいなと思えるようになりました。

「だんらん」は、子育てに真剣に悩む同士へのエールのつもりで書きつづってまいりました。

乳幼児学級で出会う赤ちゃんでさえそうだ。
つかまり立ちした子は、転んでも転んでもひとりりで歩こうとする。
ぐっと我慢して友だちにおもちやを貸そうとする。そんな場面に出会ったとき、その子の真剣な『思い』を感じ、涙が出てしまう。こんな小さなころから、子どもたちは精一杯生きていく……。
子どもたちとのさまざまな事件、出来事に出会うたび、迷い、励まされ

てきた。そして多くのお母さんたちから、どれだけ教え、励まされてきただろう……。
人間として未熟な私たちが、うまく話すことさえできない乳幼児を授かる意味が、今少しわかりかけてきた気がする。
私は、どんな子も使命を持ってこの世に生まれ出てくると思っている。その使命に気付くまで、寄り添っていく。そして、母子手帳交付時に会う、まだ見ぬ子どもたちにも、

「あなたは、望まれて生まれてくるのよ」と優しく語りかけていきたい。
そしてみんなで大切に育てていきたいと思う。

